

# ロボットフェスティバル 2018

## ○全日本小中学生ロボット選手権出場予定台数

ブロック No.	市町村名	小学生の部	中学生の部	合計
1	橋本市、紀の川市、かつらぎ町、九度山町、高野町	2	3	5
2	和歌山市、岩出市	6	8	14
3	海南市、紀美野町、有田市、湯浅町、広川町、有田川町	3	1	4
4	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町	2	2	4
5	田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町	2	1	3
6	新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町	1	1	2
合計		16	16	32

地方	府県(担当高専)名	小学生の部	中学生の部	合計
北海道・東北	宮城県(仙台高等専門学校)	2	2	4
関東	栃木県(小山工業高等専門学校)	2	2	4
東海	岐阜県(岐阜工業高等専門学校)	2	2	4
	三重県(近畿大学工業高等専門学校)	2	2	4
近畿	京都府(舞鶴工業高等専門学校)	2	2	4
	大阪府(大阪府立大学工業高等専門学校)	2	2	4
	兵庫県(明石工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校)	4	4	8
	奈良県(奈良工業高等専門学校)	2	2	4
中国	島根県(松江工業高等専門学校)	2	2	4
四国	徳島県(徳島県立あすたむらんど子ども科学館)	2	2	4
九州	宮崎県(都城工業高等専門学校)	2	2	4
グローバルチャレンジ予選会からの出場		2	2	4
合計		26	26	52

海外		小学生の部	中学生の部	合計
中国	I-Create(山東省)	2	2	4
合計		2	2	4

## ○きのくに高校生ロボットコンテスト出場予定台数(8台)

エントリー校				
紀北工業高等学校	和歌山工業高等学校	箕島高等学校	紀央館高等学校	田辺工業高等学校

## スーパーロボットショー

### ○参加企業、参加校チーム

	名称	ロボット名等	特徴又はデモンストレーション内容
研究機関・企業	千葉工業大学	GankenKun	GankenKunは千葉工業大学のRoboCupチームCIT Brainsによって開発された『自律型の』小型ヒューマノイドロボットです。 RoboCupとは2050年までにサッカーワールドカップ優勝チームに勝つロボットを開発することを目標とした競技会で、世界各国の様々なロボットがサッカーを題材に技術を競い合います。 ロボットは自分で見て、考えて、動きます。退場以外は人の手を借りることなく人工知能により動き続けなければなりません。 CIT Brainsは今年の世界大会ではベスト8の成績を収め、テクニックを競う部門では7年連続で1位を獲得しています。 実際の競技の雰囲気を感じていただけたらと思います。
	川崎重工業株式会社	医薬・医療向けロボット「MC004N」	川崎重工業株式会社は“人を支える”ロボットの開発に取り組んでいます。当社のロボット事業は2018年で創業50周年を迎えました。これまでの歩みを通して、カワサキロボットが活躍する現場は、自動車や精密機械の工場などのものづくりの現場に加え、製薬や医療の現場にも広がっています。 2013年には、血液・尿検査分野で世界トップの医療検査機器・試薬メーカー、シスメックス株式会社と共同で、株式会社メディカロイドを設立しました。 “医療用ロボットを通して「みんな」が安心して暮らせる高齢化社会をサポートする”を企業ミッションとして活動しています。 展示では、医薬・医療向けカワサキロボット「MC004N」の操作が体験できます。ぜひお越しください。
高専	※和歌山工業高等専門学校及び全国高専ロボコン大会優秀校など		高専ロボコン2018優秀チーム等
海外(韓国)	MRT International 他5機関	Line Core-M 他5種	韓国から最新のロボット等を出展